



平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月8日

上場会社名 K L a b株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3656 URL http://www.klab.com/jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 真田 哲弥
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 (氏名) 高田 和幸 (TEL) 03-5771-1100
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日~平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	10,924	23.0	1,968	—	2,185	—	1,454	—
28年12月期第2四半期	8,879	△14.9	51	△96.7	△746	—	△1,342	—

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 1,498百万円(—%) 28年12月期第2四半期 △1,348百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	39.65	38.38
28年12月期第2四半期	△36.75	—

(注) 平成28年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	14,533	10,675	73.3
28年12月期	12,133	9,130	75.1

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 10,655百万円 28年12月期 9,110百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年12月期	—	0.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日~平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,500 ~22,500	30.1 ~14.8	4,000 ~2,200	213.8 ~72.6	4,200 ~2,400	405.7 ~189.0	2,800 ~1,600	—	76.31~43.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年12月期2Q	38,017,700株	28年12月期	37,945,500株
29年12月期2Q	1,255,800株	28年12月期	1,282,900株
29年12月期2Q	36,694,825株	28年12月期2Q	36,529,141株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の売上高は10,924,642千円となり、前年同期比23.0%の増加となりました。これは主に、既存の主力タイトルの売上が減衰せず好調に推移したほか、6月13日に「キャプテン翼 ～たたかえドリームチーム～」をリリースしたことによるものです。

費用面では、売上原価は7,023,328千円となり、前年同期比3.9%の増加となりました。これは主に、売上増加に伴う使用料及び支払手数料が増加したことによるものです。

販売費及び一般管理費は1,932,949千円となり、前年同期比6.6%の減少となりました。これは主に、広告宣伝費及び業務委託費が減少したことによるものです。

その他、営業外収益として217,968千円を計上しました。これは主に、外貨建取引の決済時における為替相場の変動等により、為替差益175,367千円を計上したことによるものです。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高10,924,642千円、営業利益1,968,364千円、経常利益2,185,685千円、親会社株主に帰属する四半期純利益1,454,989千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は14,533,882千円となり、前連結会計年度末に比べ、2,400,362千円の増加となりました。

流動資産合計は9,103,042千円となり、前連結会計年度末に比べ、1,185,325千円の増加となりました。これは主に、売掛金の増加によるものです。

固定資産合計は5,430,839千円となり、前連結会計年度末に比べ、1,215,037千円の増加となりました。これは主に、無形固定資産の増加によるものです。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は3,858,409千円となり、前連結会計年度末に比べ、855,693千円の増加となりました。

流動負債合計は3,849,303千円となり、前連結会計年度末に比べ、849,522千円の増加となりました。これは主に、未払法人税等の増加によるものです。

固定負債合計は9,105千円となり、前連結会計年度末に比べ、6,171千円の増加となりました。これは主に、リース債務の増加によるものです。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は10,675,473千円となり、前連結会計年度末に比べ、1,544,668千円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期業績見通し

当社は平成28年12月期まで翌四半期業績予想開示を実施してまいりましたが、翌四半期業績予想開示では投資家の皆様に当社の企業価値を長期目線でご判断いただくには情報不足と判断いたしました。

現在の当社経営状況や市場動向等に鑑み、以前よりは業績見通しは立てやすくなってきていると推測する一方で、新作タイトルのヒット度合いにより業績が大きく変動いたします。

以上のことから、平成29年12月期はレンジ形式による通期業績予想開示を採用しております。

なお、直近の業績動向等を踏まえ、平成29年8月7日付「通期業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、平成29年12月期の業績見通しを以下のように上方修正しております。

売上高	25,500～22,500百万円
営業利益	4,000～2,200百万円
経常利益	4,200～2,400百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	2,800～1,600百万円

将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報の前提に基づいており、実際の業績等は今後の様々な不確定要素により変動する可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,660,962	4,397,035
売掛金	2,120,551	2,616,662
その他	1,136,600	2,089,787
貸倒引当金	△396	△442
流動資産合計	7,917,717	9,103,042
固定資産		
有形固定資産	301,618	276,277
無形固定資産		
のれん	1,724	925
その他	1,279,723	2,213,501
無形固定資産合計	1,281,448	2,214,427
投資その他の資産		
投資有価証券	1,323,414	1,639,327
その他	1,338,408	1,306,760
貸倒引当金	△29,087	△5,953
投資その他の資産合計	2,632,735	2,940,134
固定資産合計	4,215,802	5,430,839
資産合計	12,133,520	14,533,882
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,309,807	1,559,434
賞与引当金	92,422	97,831
未払法人税等	17,370	734,337
その他	1,580,181	1,457,699
流動負債合計	2,999,781	3,849,303
固定負債		
その他	2,934	9,105
固定負債合計	2,934	9,105
負債合計	3,002,715	3,858,409
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,572,322	4,590,751
資本剰余金	4,268,078	4,286,506
利益剰余金	1,083,879	2,538,869
自己株式	△836,477	△824,417
株主資本合計	9,087,803	10,591,709
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,439	70,441
為替換算調整勘定	24,212	△6,598
その他の包括利益累計額合計	22,772	63,843
新株予約権	20,227	19,920
純資産合計	9,130,804	10,675,473
負債純資産合計	12,133,520	14,533,882

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	8,879,075	10,924,642
売上原価	6,758,346	7,023,328
売上総利益	2,120,728	3,901,314
販売費及び一般管理費	2,069,647	1,932,949
営業利益	51,081	1,968,364
営業外収益		
受取利息	14,904	15,505
受取配当金	4,132	6,932
持分法による投資利益	—	4,048
為替差益	—	175,367
その他	24,992	16,113
営業外収益合計	44,029	217,968
営業外費用		
支払利息	1,634	315
持分法による投資損失	6,142	—
為替差損	752,374	—
自己株式取得費用	113	239
その他	81,045	92
営業外費用合計	841,310	647
経常利益又は経常損失(△)	△746,199	2,185,685
特別利益		
関係会社株式売却益	—	11,871
その他	648	61
特別利益合計	648	11,932
特別損失		
減損損失	757,700	—
固定資産除却損	11,673	17,410
その他	98,361	—
特別損失合計	867,735	17,410
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,613,286	2,180,207
法人税等	△273,000	723,962
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,340,285	1,456,244
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,273	1,255
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,342,559	1,454,989

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,340,285	1,456,244
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△86,356	69,430
為替換算調整勘定	114,476	△30,026
持分法適用会社に対する持分相当額	△35,924	2,450
その他の包括利益合計	△7,804	41,854
四半期包括利益	△1,348,090	1,498,099
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,344,982	1,496,059
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,107	2,039

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計 (注) 2
	ゲーム事業		
売上高			
外部顧客への売上高	8,842,216	36,859	8,879,075
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	8,842,216	36,859	8,879,075
セグメント利益又は損失(△)	2,124,141	△3,413	2,120,728

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、イベント事業・その他事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しているため差異調整は行っておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ゲーム事業」セグメントにおいて、ソフトウェア等の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において757,700千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計 (注) 2
	ゲーム事業		
売上高			
外部顧客への売上高	10,901,420	23,221	10,924,642
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	10,901,420	23,221	10,924,642
セグメント利益又は損失(△)	3,904,172	△2,858	3,901,314

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、イベント事業・その他事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しているため差異調整は行っておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社は、平成29年6月21日開催の取締役会において、株式会社アバシーの全株式を取得(以下「本件株式取得」といいます。)し、子会社化することについて決議いたしました。これに基づき、平成29年6月30日付で株式売買契約書を締結し、平成29年7月1日付で当該株式を取得しております。

また、本件株式取得に伴い、株式会社アバシーの子会社である株式会社スパイスマートが当社の孫会社になります。

1 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

①被取得企業の名称 株式会社アバシー

事業の内容 子会社の経営管理等

②被取得企業の名称 株式会社スパイスマート

事業の内容 ゲーム内運用に関するリサーチ業務及びコンサルティング業務

(2) 企業結合を行った主な理由

モバイルオンラインゲーム市場はスマートフォンの普及に伴い急速に拡大してきましたが、近年は競争が激化してきており、このような市場環境における事業者にとって、収益の拡大・維持のため、ゲームシステムやゲーム内運用施策等の情報収集・分析の重要性がますます高まっています。日本以外の中華圏や東アジア圏においても同様の市場動勢となってきました。

こうした環境の中、スパイスマートは、高品質な分析情報を提供することでクライアント数を急激に増やし事業を拡大してきました。

今回の同社株式の取得、完全子会社化により、スパイスマートは当社が持つリソースを活用し、Sp!cemartの開発体制及び営業体制を強化し、より付加価値の高い情報を、より多くのクライアントに提供することが可能になります。

また、世界的にも競争が激化する中、中華圏の事業者による日本でのゲームリリース、あるいはゲーム化IP獲得のための日本のアニメ等への投資といった日中間のインバウンドやアウトバウンドの動きが活発化してきています。

スパイスマートはこのような動きに対し、いち早く対応し、日本・中華圏でのゲーム事業に関するインバウンド・アウトバウンドのサポートを手掛けてきましたが、提供できるサービスが限定的であり、越境事業者のニーズに十分応えきれていませんでした。

このような市場環境において、スパイスマートの日中におけるネットワークと当社のリソースを掛け合わせるにより、上記ニーズに応えることが可能となり、更なる事業拡大が可能と考え、株式の取得に至りました。

(3) 企業結合日

平成29年7月1日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

名称に変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

2 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	1,000,000千円
<hr/>		
取得原価		1,000,000千円

3 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 1,801千円

4 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では、確定しておりません。

5 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では、確定しておりません。